

佐賀県小城市地域おこし協力隊 募集要項
「子育てしている人と応援したい人をつないで、「ほっこり」を増やそう！
おぎママ・パパまちじゅうみんなサポーター化計画」



山も、海もあり、日当たりと肥沃な大地にも恵まれたのどかなまち、佐賀県小城市。佐賀市のベッドタウンでもあり、城下町として栄えた「小城町」、米どころ「三日月町」、宿場町「牛津町」、農漁業の町「芦刈町」という個性の違う4町が2005年に合併して、現在に至ります。

今回募集する地域おこし協力隊のお仕事は、地域と人を繋ぐ。人と人を繋ぐ。そのために大切な「情報発信」と「ネットワーク」づくりです。

地域と人、人と人をつなぐことは、その目的と熱量のある「人」の存在がなければできません。それが、あなたです。あなたの活動は、地域で困っている人の不安や心配、孤独感を解消できる可能性を秘めています。

Ⅰ ミッション：地域と人、人と人を繋ぐ。そのために大切な「情報発信」と「ネットワーク」

時代とともに変化する子育て環境と地域本来の人のあたたかさを結び、「地域みんなで子育てをする」新たな地域交流ネットワークを、SNSでの情報発信や、誰でも参加しやすい小さなお茶会などのイベントを通して、つくりあげること。今の少子高齢化時代になくてはならない、「子育てする人」と「子育てを応援したい人」がゆるくふんわりと、優しくつながり合うことをお手伝いするお仕事です。

2 具体的な仕事内容：まちじゅうみんなを子育てサポーターに！

① ママ・パパの声を拾う＋子育てを応援している店や人に出会う

（つながる）サークルや母子保健推進員さんと交流、人を紹介してもらう
（はなす）お店や企業（応援者）などを訪問し、交流や意見交換をする
（うながす）趣旨に賛同する応援者からメッセージをもらう

② 子育て中のママ・パパに伝える（情報発信）

（ひろげる）Instagramに応援者のメッセージを投稿する

※小城市の子育てに関する話題や情報も投稿する

《投稿内容のイメージ》

・子育てを応援している店・人からのメッセージ動画（頻度：月2回）

・子育ての基本情報・関連情報

※例：遊び場の紹介、子育てイベントの告知など（頻度：週1回）

※市HP、市LINE、市報、健診情報と連携して発信する。

（投稿の手順）投稿文作成⇒小城市の確認⇒公開

③ ママ・パパと応援者をつなぐ交流目的の場づくりを企画、実施する（交流）

（ひろげる）交流のためのイベントや企画を実施する

《場づくりや企画のイメージ》

協力隊主催で、ざっくばらんに話せるお茶会などを企画する。頻度：月1回程度
ミニイベントや、子育て応援認証シールなど、アイデアを活かせます。

④ 共通業務

定例ミーティング（週1回）、日報および月報の作成、活動報告会（年1回）など

3 着任後のロードマップ（目安）

●1年目：小城市の子育ての環境・課題を知る

子育て広場や児童センターへ定期訪問し、ボランティアやママ・パパたちと関係構築を行います。初めは職員と一緒に訪問していきましょう。小城市が実施している子育てサービスや、子育てサークルが実施する遊び場などで情報収集し、ニーズを把握していきます。まずは子育て中のママ・パパから。慣れてきたら、一般のお店や会社など「応援したい人」にもつながりを広げていくイメージです。

【目標】半年後に「子育てを応援している店・人」のメッセージ動画を発信できるようになる

●2年目：地域の子育て応援者と応援店を発掘する

1年目に続き、子育ての情報収集と発信をしていきます。親同士が交流できる場づくりを企画、実施してみましょう。（例）既存の施設や応援店と協働したミニイベントや協力隊主催のお茶会

【目標】メッセージ動画（月2回）場づくり（月1回）の実施を軌道に乗せる

●3年目：退任後の仕組みづくりを職員と一緒に検討する

1年目と2年目を踏襲しつつ、地域の一体感と継続性を意識したネットワークづくりを企画、展開します。（例）子育て応援店（人）認証シール

【目標】仕組みのアイデアを職員と一緒に形にする

●退任後：市内外の企業等に就職して、できれば小城市に定住してほしいです。その場合は、地域で子育てを見守る応援者の一人になってほしいと考えています。

4 こんな方に向いているお仕事です

<こんな人に向いています！>

- ・子育て支援に関心がある
- ・子育ての悩みに共感できる
- ・子育て経験がある
- ・人や場所の良いところを見つけられる（人が好き）
- ・お世話が好きで、おせっかいができる
- ・話を聞くことが好きな人
- ・フットワーク軽く、好奇心旺盛な人

<必須スキル>

- ・コミュニケーションが得意で、人と対話ができる
- ・基本のPC操作（オフィス、ホームページなど市内のシステム操作）
- ・SNSを日常的に使うことができる
- ・普通自動車運転免許

<歓迎スキル>

- ・子育てや子育て支援の経験
- ・広報の知識、技術
- ・企画、運営、営業などの経験

5 募集要項

▽雇用関係の有無

あり

▽募集対象

- ①三大都市圏や政令指定都市の都市地域(過疎、山村、半島等の地域に該当しない市町村)から佐賀県内へ、採用日に住民票を移動できる方(特別交付税措置に係る地域要件確認表に準じた要件となります)
- ②地方公務員法第16条に規定する一般職員の欠格事項に該当しない方
- ③心身がともに健康で、かつ、誠実に職務を遂行できる方
- ④小城市地域おこし協力隊として委嘱の際に、生活の拠点を小城市に移し、小城市の住民基本台帳に記録されることが出来る方
- ⑤普通自動車運転免許を取得している方
- ⑥パソコン操作(ワード、エクセル、パワーポイントなど)ができる方
- ⑦暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団そのほか反社会的団体又はそれらの構成員に該当しない方

▽身分等

- (1) 身 分 小城市会計年度任用職員
- (2) 委嘱期間 令和8年1月以降に委嘱予定(着任時期は相談できます。)
※隊員としての活動期間は最長3年(年度ごとの更新による)

▽募集人数

1名

▽勤務地

・佐賀県小城市役所(デスク)

▽勤務日数

週4日

▽勤務時間

8:30~16:45 または 9:00~17:15 (7時間15分の勤務)

▽休日

水(平日1日、変更可)土日祝(振替あり)、時間外勤務手当あり

▽副業

可（要届出）

▽貸出（リース）

PC(庁内用)、タブレット(外出用)、車（業務外出用）

▽住居に対する補助

家賃補助 5 万円まで（月額上限）、敷金礼金補助 15 万 5 千円まで（上限）

▽報酬

月額：250,000 円、賞与なし

※通勤手当の支給あり

※税、社会保険料、雇用保険料等の本人負担分が、上記金額から差し引かれます。

▽社会保険等

厚生年金、共済保険、雇用保険に加入

▽有給休暇

半年後に 7 日、翌年度 8 日、3 年目は 9 日。繰越ありで、最大 15 日。

▽応募期間

令和 7 年 9 月 1 日(月) ～ 令和 7 月 10 月 19 日(日)

▽オンライン質疑応答会 & 交流会

令和 7 年 10 月 9 日（木） 20 時 00 分～

開催方法：オンライン（Zoom）

申込み方法：申し込みフォームで申し込んでください。

▽選考

【一次選考】

書類選考の上、可否を文書で通知します。

【二次選考】

一次選考合格者を対象に、現地（小城市内）で実施します。

※二次選考の日時は 11 月 7 日(金)、11 月 8 日（土）11 月 9 日(日)を予定

しています。

※二次選考に要する交通費等は個人負担とします。

【二次選考（面接）】

日 時：令和7年11月7日（金）～9日（日）（2泊3日）

場 所：小城市役所および小城市内

内 容：（予定）小城市の案内・地域交流会・面接

※二次選考に要する交通費等は個人負担とします。

▽応募方法

以下の必要書類をメール又は郵送にて送付ください。

- ・応募申込書（志望動機 400 字程度をご記入ください。）
- ・住民票の抄本
- ・普通自動車運転免許証の写し

※メール提出時のタイトルは、「小城市地域おこし協力隊応募」としてくだ
さい。

【提出先】

佐賀県小城市 福祉部 こども家庭課

メールの場合 10月19日（日）23:59 分締切

（メール送信先：kodomokatei@city.ogi.lg.jp）

郵送の場合 10月19日（日）必着

（送付先）〒845-8511 佐賀県小城市三日月町長神田 2312 番地 2
小城市役所 福祉部 こども家庭課

▽お問い合わせ先

佐賀県小城市 福祉部 こども家庭課

〒845-8511

佐賀県小城市三日月町長神田 2312 番地 2

電話：0952-37-6107

メール：kodomokatei@city.ogi.lg.jp

※些細なことでも構いませんので、気になること等ありましたらご相談頂けると幸いです。